

28年9月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成28年9月1日～ 28年9月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は43社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
仕入動向	国産材	3.1	6.5	△ 5.0
	外材	△ 3.8	△ 4.1	△ 5.4
販売動向	国産材	6.3	9.7	△ 1.7
	外材	15.4	8.6	0.0
在庫動向	国産材	△ 4.7	△ 4.8	△ 5.0
	外材	△ 9.2	△ 6.8	△ 1.4

- ・国産材製材品の仕入れは9月、10月のやや増加が、11月はやや減少。外材は3ヵ月連続してやや減少。
- ・製材品の販売は国産材、外材共に9月、10月の増加が、11月は横ばいないしわずかの減少。
- ・製材品の在庫は国産材、外材共に3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/9月	10月	11月
スギ正角(グリーン)	2.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	7.7	1.9	0.0
ヒノキ正角	1.9	0.0	0.0
ヒノキ土台角	1.9	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	△ 1.9	△ 3.8	0.0
米ツガ防腐土台角	△ 1.9	△ 1.9	△ 1.9
米ツガ割物(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	△ 2.1	0.0	2.2
北洋アカマツタルキ(現地挽)	2.0	△ 2.1	△ 2.1
ホワイトウッド集成管柱	5.8	1.9	△ 2.0
レッドウッド集成平角	0.0	0.0	1.9
型枠合板(輸入)	△ 29.5	△ 10.0	0.0
針葉樹構造用合板	43.2	31.0	14.3
針葉樹構造用合板(厚物)	38.6	28.6	19.0

- ・スギ正角・グリーン材はほぼ持合い推移だが、KD材は9月のやや強含みから保合に。ヒノキ正角、土台角は保合。
- ・米ツガは保合いないしやや弱保合。米マツ平角は保合。
- ・北洋アカマツタルキ(現地挽)は保合。
- ・WW集成管柱及びRW集成平角は保合。
- ・型枠合板(輸入)は9月、10月の弱含みが11月は横ばい。針葉樹構造用合板は強含みで推移。